インストールガイド

AXIS P13-E ネットワークカメラシリーズ

AXIS P1343-E ネットワークカメラ

AXIS P1344-E ネットワークカメラ

AXIS P1346-E ネットワークカメラ

日本語

法律上の注意事項
ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。
本製品にはH.264 デコーダ用のライセンスが1 つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

商標
Apple、Boa、Bonjour、Ethernet、Internet Explorer、Linux、Microsoft、Mozilla、Netscape Navigator、OS/2、Real、SMPTE、QuickTime、UNIX、Windows、WWW は各社の登録商標です。Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems Inc. の商標または登録商標です。Axis Communications AB は Sun Microsystems Inc. とは無関係です。UPnP™ は、UPnP™ Implementers Corporation（UIC）の商標です。

電波に関する適合性 (EMC)
本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害を招く恐れがあります。ただし、特定のインストールにおいて妨害が生じないという保証はありません。
本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向を変更するか、再配置を行う。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。EMC 基準に準拠するには、本装置でシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 – This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference, in which case the user at his/her own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference.

カナダ – This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

欧州 – CE This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential and commercial industry.

日本 – この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB 製品です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置および使用してください。

豪州 – This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS CISPR22:2002.

韓国 – Class B: 本装置は家庭での使用のための EMC 登録を取得しているため、住宅地を含むいかなる地区でも使用できます。

装置の改造
本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがってインストール、および使用してください。本装置にはユーザーが独自に交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任
本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字･脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料、資材の提供、パフォーマンス、使用の結果に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS
本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国 RoHS 指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令
The European Union has enacted a Directive 2002/96/EC on Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE Directive). This directive is applicable in the European Union member states. The WEEE marking on this product (see right) or its documentation indicates that the product must not be disposed of together with household waste. To prevent possible harm to human health and/or the environment, the product must be disposed of in an approved and environmentally safe recycling process. For further information on how to dispose of this product correctly, contact the product supplier, or the local authority responsible for waste disposal in your area.
Business users should contact the product supplier for information on how to dispose of this product correctly. This product should not be mixed with other commercial waste.

サポート
技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことができます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。データベースは、製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索できます。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

安全確保と警告

製品をインストールする前に本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

! 警告！

- Axis 製品を輸送する場合には、製品が損傷するのを防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。
- 製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力に製品がさらされないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定または振動する表や壁に取り付けないでください。
- カメラを取り付ける場合には、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な圧力をかけると製品が損傷することがあります。
- 化学薬品、腐食剤または噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合は湿った布を使用してください。
- Axis が提供または推奨するアクセサリおよび交換部品のみを使用してください。
- 製品を自分で修理しないようにしてください。修理に関しては Axis または Axis 販売店にお問い合わせください。

! 重要！

- 本 Axis 製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。
- Axis 製品を保管および輸送する際には、乾燥した換気のよい環境で行ってください。

安全性に関する告知 – バッテリ交換

本 Axis 製品は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリを使用しています。通常、このバッテリは最低 5 年間使用できます。バッテリが低電力の状態となると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリは、このように必要な場合以外には交換しないでください。

バッテリの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリまたは同等のバッテリのみと交換してください。
- 使用済みバッテリを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

日本語

AXIS P1343-E, AXIS P1344-E, AXIS P1346-E インストールガイド

このインストールガイドでは、AXIS P1343-E/P1344-E/P1346-E ネットワークカメラ (以下、ネットワークカメラ) をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。ネットワークカメラの設定などに関する詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

日本語

インストール手順

1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要。6 ページを参照してください。
3. ハードウェアをインストールします。8 ページを参照してください。
4. IP アドレスを設定します。11 ページを参照してください。
5. パスワードを設定します。14 ページを参照してください。
6. ズームとピント合わせ。17 ページを参照してください。

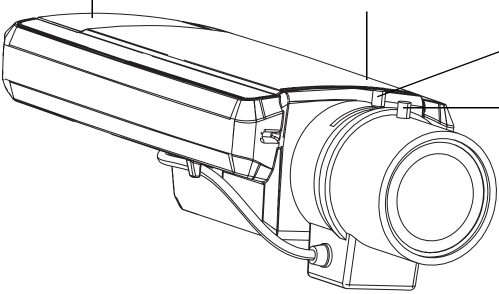
重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

①パッケージの内容

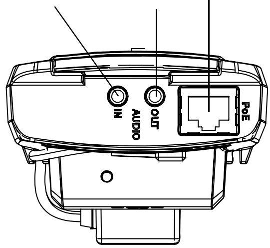
品目	モデル / 型 / 注
ネットワークカメラ	AXIS P1343-E/AXIS P1344-E/AXIS P1346-E
壁面ブラケット	内部ケーブルチャネル付き壁面ブラケット
工具	トルクス T20 ドライバー 六角レンチ
ネットワークケーブル	ガスケット付きネットワークケーブル 5 m
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS P13-E ネットワークカメラシリーズインストールガイド (本書) Axis 保証書 予備のシリアル番号ラベル (2 枚)

オプションのアクセサリ	利用できるアクセサリについては、www.axiscom.co.jp を参照してください。

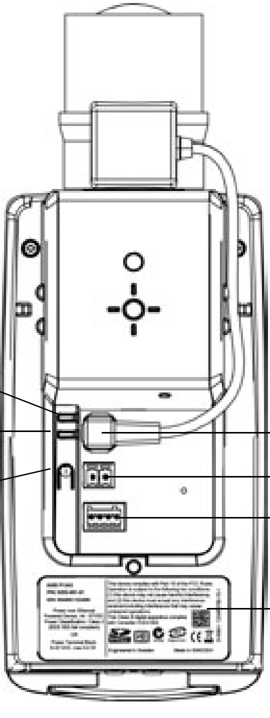
❷ハードウェアの概要



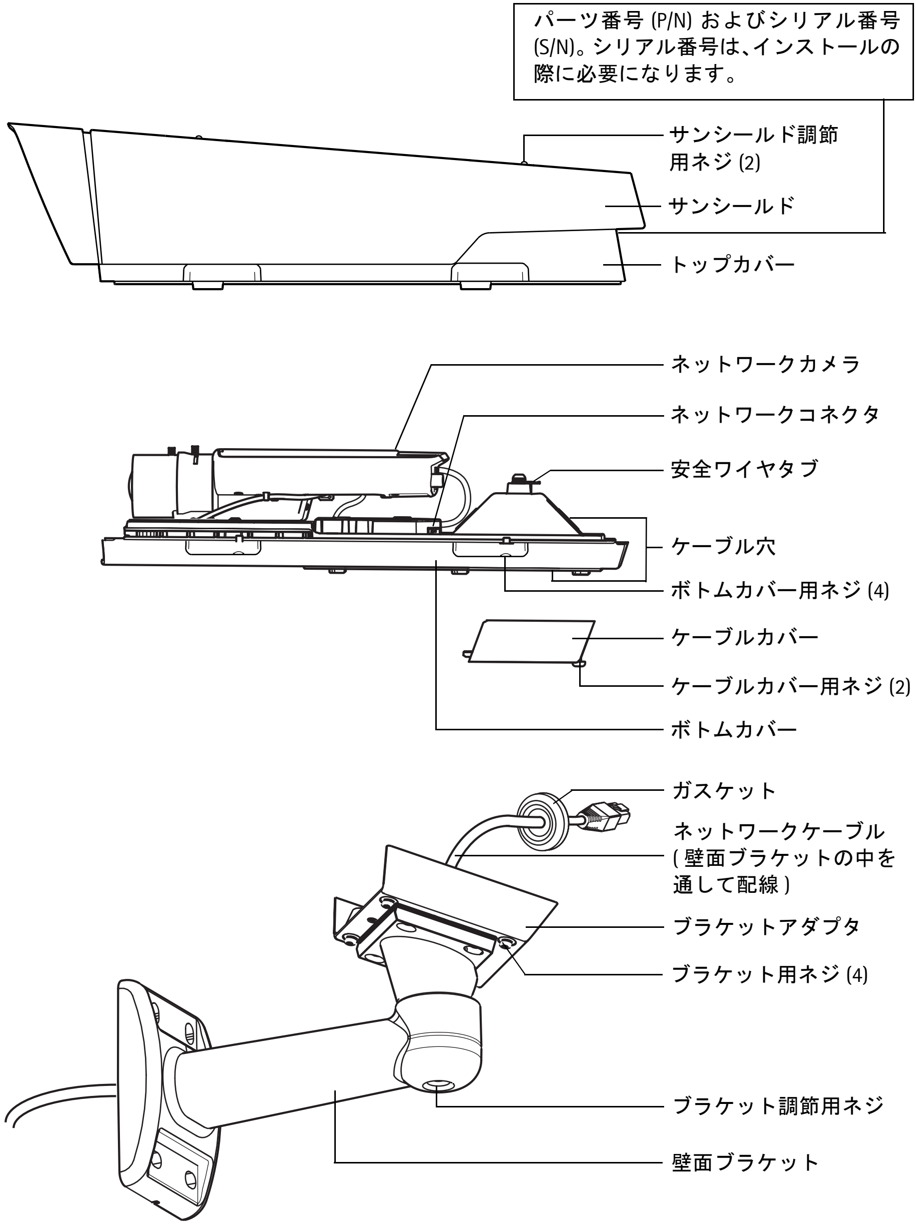
リアパネル



底面



イメージ例：AXIS P1343-E

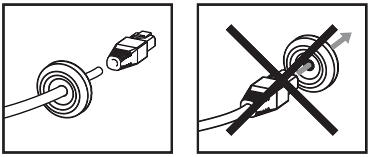


イメージ例: AXIS P1343-E

❸ハードウェアのインストール

以下の手順は AXIS P1343-E/P1344-E/P1346-E のインストールについて説明します。

ネットワークケーブルを準備する



付属のケーブル以外のケーブルを使用する場合には、ガスケット付きのネットワークケーブルを準備する必要があります。付属のガスケットにケーブルを少しずつ押し入れ、ネットワークコネクタに接続します。場合によっては、付属のドライバでガスケットに穴を開ける必要があります。

注意：

- ネットワークコネクタをガスケットに押し入れないでください。
- ナイフその他尖ったものでガスケットに穴を開けないでください。

壁面ブラケットのインストール

1. 壁面ブラケットを取り付けるため、付属の穴あけテンプレートを使用して壁面、天井、またはポールを準備します。
2. ネットワークケーブルを壁面ブラケットを通して配線し、ゴム製ガスケットが壁面ブラケットのブラケットアダプタの端に来るようにします。7 ページの図を参照してください。
3. 壁面、天井、またはポールに壁面ブラケットを取り付け、ネジやプラグが取り付け先の材質に適していることを確認してください (木材、金属、石膏ボード、石など)。

注意：

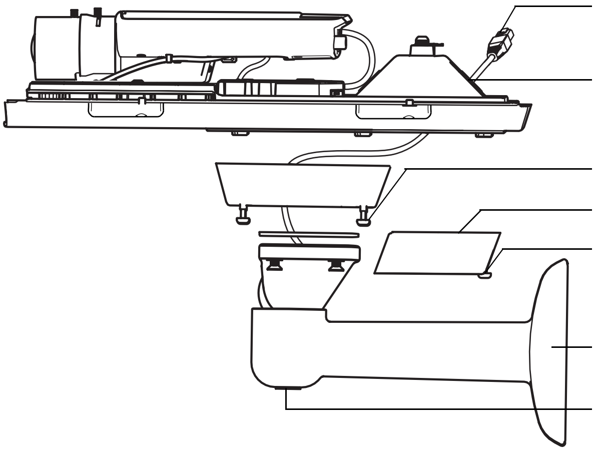
- カメラの重さを次の表に示します。取り付け先の材質にこの重量を十分に支えられる強度があることを確認してください。

モデル	**重量**
AXIS P1343-E	3090g
AXIS P1344-E	3120g
AXIS P1346-E	3130g

- 技術仕様の詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

カメラをブラケットに取り付ける

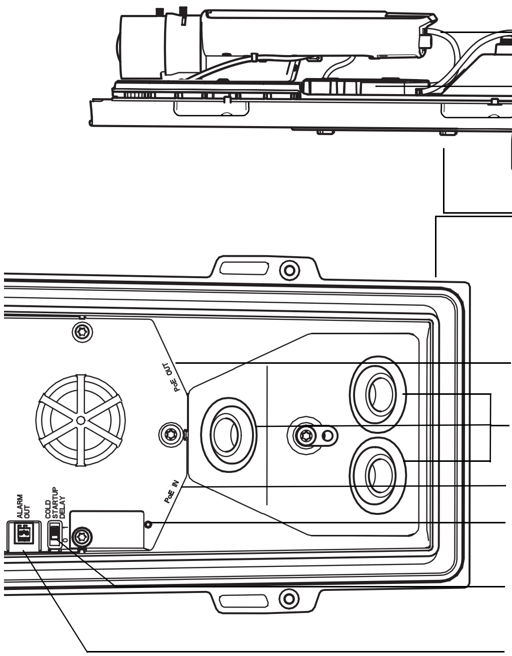
1. カメラをボトムカバーとともにブラケットに取り付け、ブラケット用ネジを締めます。
2. ボトムカバーの穴の 1 つからガスケットを取り外します。10 ページの図を参照してください。
3. 穴を通してケーブルを配線し、ケーブルガスケットを穴に取り付けます。



4. 10 ページの *「ケーブルを接続する」* を参照して、ケーブルを接続します。
5. トップカバーを持ち、安全ワイヤをボトムカバーのタブに取り付けます。
6. トップカバーを取り付けます。対角線上のボトムカバー用ネジを一度に数回ずつ締めていってください。これによりボトムカバーガスケットが全体的に押し付けられます。最初からネジを完全に締め付けないでください。
7. ケーブルカバーを取り付けて、ケーブルカバー用ネジを締め付けます。
8. サンシールド調節用ネジを緩めて、サンシールドの位置を調節します。
9. ブラケット調節用ネジを緩めて、カメラを対象の方向に向けます。 ビデオストリームを表示する方法について詳しくは、16 ページの *「ビデオストリームにアクセスする」* を参照してください。

ケーブルを接続する

1. 必要に応じて、SD カード (別売) を SDHC (Secure Digital High Capacity) カードスロットに挿入します。カメラ内に画像を保存するには、標準または大容量の SD カードが必要になります。
2. 必要に応じて、外部デバイスをネットワークカメラの I/O ターミナルコネクタに接続します。ターミナルコネクタピンについては、21 ページを参照してください。8 ページの *「ネットワークケーブルを準備する」* を参照してガスケット付きのケーブルを準備し、ケーブル穴からボトムカバー内のカメラまでケーブルを配線します。
3. シールド付きネットワークケーブルを利用して、ネットワークカメラをネットワークに接続します。底部にあるネットワークコネクタにネットワークケーブルを接続します。納品時にボトムカバーとカメラの間はネットワークケーブルと I/O ケーブルですでに接続されています。



4. インディケータの状態を確認してください。詳細については、22 ページの表を参照してください。Status インディケータは通常の操作中には消灯するように設定できます。

❹IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合、ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

固定 IP アドレスを設定したい場合、Windows 用ソフトウェアである **AXIS IP Utility** または **AXIS Camera Management** のいずれかの使用をお勧めしています。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も合った手段をお選びください。

これらはいずれも無償のソフトウェアで、製品に付属する AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、Axis のホームページ www.axiscom.co.jp からダウンロードしてご利用いただけます。

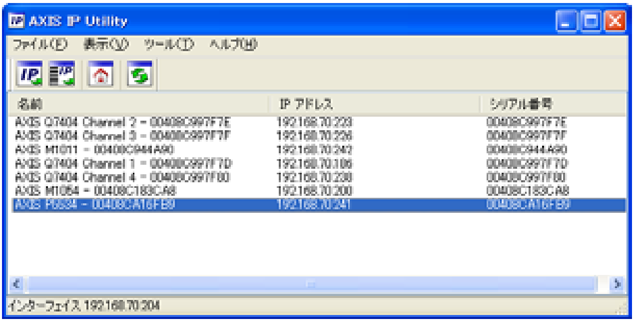
使用できる手段	**推奨されるカメラ設置環境**	**オペレーティングシステム**
AXIS IP Utility 参照ページ 12 ページ	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 参照ページ 13 ページ	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでの導入	Windows 2000 Windows XP Professional Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7

注意：

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- 他の OS を使用する場合など、その他の IP アドレスの設定および検出方法については、19 ページを参照してください。

AXIS IP Utility を利用する (1 台のカメラ / 小規模インストール向き)

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。また、手動で固定の IP アドレスを設定することができます。



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) に接続されていることが必要です。

自動検出機能

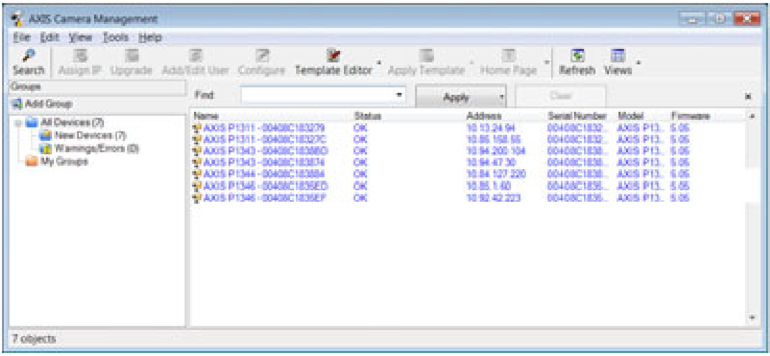
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. ウィンドウにカメラが表示されたら、それをダブルクリックするとホームページが開きます。
4. パスワードの設定方法については、14 ページを参照してください。

IP アドレスの手動設定 (オプション)

1. コンピューターと同一のネットワークセグメントで、未使用の IP アドレスを入手します。
2. リストでネットワークカメラを選択します。
3. [**選択したデバイスに新しい IP アドレスを設定**] ボタン  をクリックして、IP アドレスを入力します。
4. [**IP を設定**] をクリックし、画面の指示にしたがいます。新しい IP アドレスを設定するには、2 分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. [**ホームページ**] をクリックして、カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、14 ページを参照してください。

AXIS Camera Management (複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

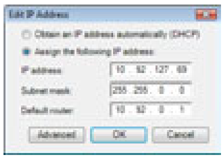
AXIS Camera Management はネットワーク上の複数の Axis デバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IP アドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。



自動検出機能

1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、14 ページを参照してください。

1 台のデバイスの IP アドレスを設定する



1. AXIS Camera Management でネットワークカメラを選択し、[Assign IP] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address] を選択し、デバイスに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. [OK] をクリックします。

複数台のデバイスの IP アドレスを設定する



AXIS Camera Management を利用すると、特定の IP アドレスの範囲を指定することにより複数台のデバイスにまとめてIPアドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、[Assign IP] ボタン をクリックします。
2. [Assign the following IP address range] を選択し、デバイスに設定する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. [Update] ボタンをクリックします。設定される IP アドレスが [New IP Addresses] の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して [Edit] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。

❺パスワードの設定

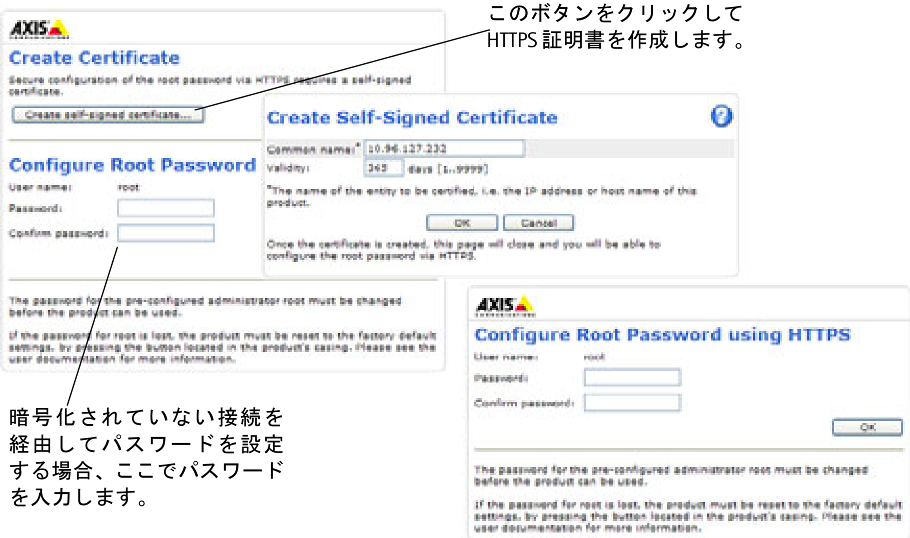
製品にアクセスするには、まずデフォルトの管理者 (root) 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、**ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される**、[Configure Root Password] ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。
注意 : HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. [Create self-signed certificate] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、これでパスワードを安全に設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。



4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。
   注意 : デフォルトの管理者ユーザー名である root は削除できません。

5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[**OK**] をクリックします。
注意：パスワードを忘れてしまった場合、カメラを工場出荷時設定にリセットする必要があります。24 ページを参照してください。



6. AXIS P1346-E：キャプチャモードは初めて AXIS P1346-E にアクセスするときに設定する必要があります。ドロップダウンリストから使用するキャプチャモードを選択し、[**OK**] をクリックします。
注意：キャプチャモードは製品の Web ページから後で変更できますが、その他の設定までリセットすることになります。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

日本語

ビデオストリームにアクセスする

ネットワークカメラの [Live View] ページが表示されます。ここには Setup ツールへのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。

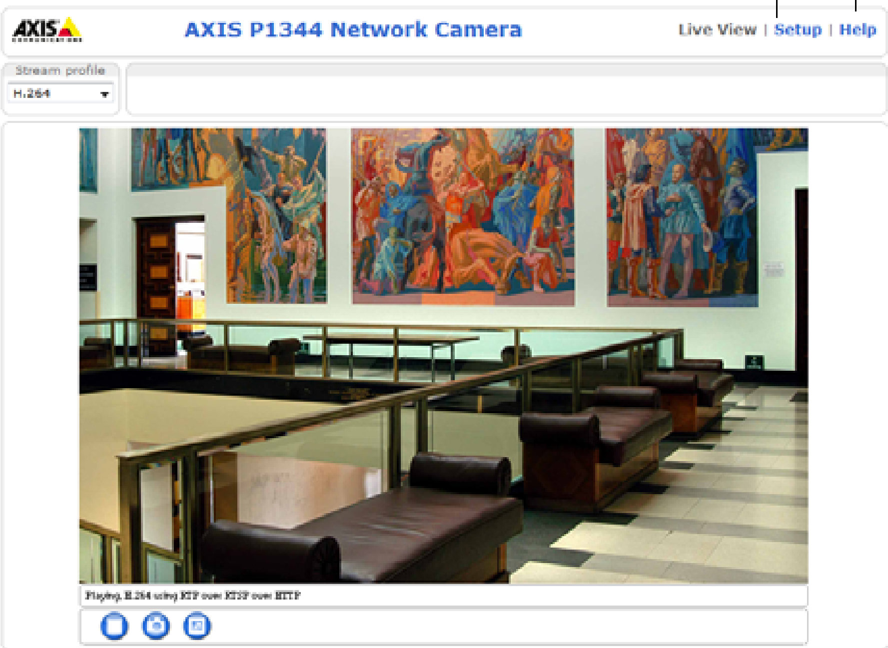
必要な場合、[Yes] をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

必要に応じてリンクをクリックし、足りないデコーダーをインストールしてください。

注意： Windows Vista / Windows 7 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、**[管理者として実行]** を選択します。

Setup - お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。

Help - カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。



⑥ズームとピント合わせ

ズームとピント合わせを行うには、次の手順にしたがいます。

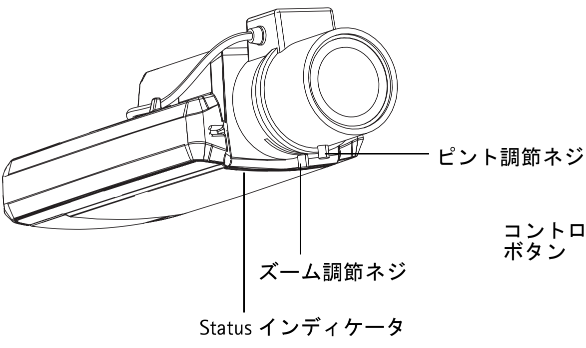
1. 製品のホームページを開き、[Setup] > [Basic Setup] > [Focus] を開きます。
2. ［Basic］タブの［Open iris］ボタンをクリックします。ボタンが押せない状態になっている場合は、絞りは既に開放状態になっています。
3. 以前にピント合わせを行ったことがある場合は、［Reset］ボタンをクリックしてバックフォーカスをデフォルトの状態に戻してください。
4. ズーム調節ネジとピント調節ネジを反時計回りに回して緩めます。画像を確認しながら、ズーム位置を決定し、続いてピント合わせを行います。

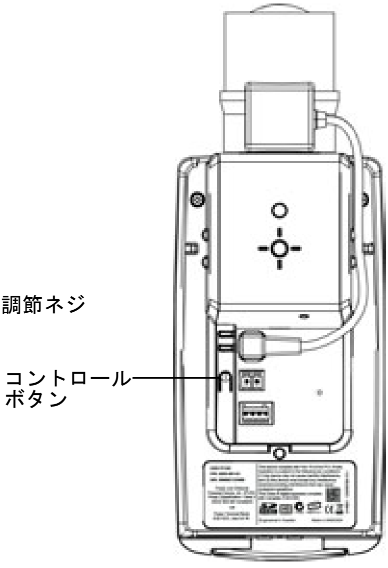
   注意：

   画像を見ながら調節ネジを動かすことができないようにカメラが取り付けられている場合、代わりにフォーカスアシスタントを使用します。18 ページを参照してください。
5. ズーム調節ネジとピント調節ネジを締めます。
6. ［Focus］ページで、［Fine-tune focus automatically］ボタンをクリックします。ピント合わせの微調整が自動的に行われます。
7. ［Enable iris］をクリックします。ボタンが押せない状態になっている場合は、オートアイリスは既に有効になっています。
8. より正確なピント合わせを行う場合は、［Advanced］タブをクリックします。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

注意：

- 自動ピント合わせ (Fine-tune focus automatically ボタン) を利用する前に、ピント調節ネジまたはフォーカスアシスタントを利用してできるだけ正確にピント合わせを行ってください。通常は、ピント調節ネジを利用して最も良い状態を得ることができます。
- ピント合わせを行っている際は、絞り (アイリス) は常に全開放にしてください。被写界深度が最も浅くなり、ピント合わせに最適な状態を得ることができます。





イメージ例：AXIS P1343-E

フォーカスアシスタント

フォーカスアシスタントを使用してピントを合わせるには、次の手順に進む前に 17 ページの 1 ～ 3 の手順にしたがってください。

1. カメラが動かないようしっかりと固定してください。
2. ズーム調節ネジを反時計回りに回して緩めます。ズーム位置を決め、ズーム調節ネジを締めて固定します。
3. ピント調節ネジを緩め、レンズを時計回りに最後まで回し、最も離れた位置にピントを合わせます。
4. コントロールボタンを押してすぐに放します。Status インディケータが緑色で点滅し、フォーカスアシスタント機能が有効になります。
   Status インディケータが赤またはオレンジ色で点滅している場合は、手順 7 へ進んでフォーカスアシスタント機能を一旦終了し、手順 3 ～ 7 をやり直してください。
5. レンズを時計と反対の方向に止まるまで回します。
6. Status インディケータが緑色またはオレンジ色 (赤ではありません) で点滅するまでレンズをゆっくりと時計回りに回します。
7. コントロールボタンを押してフォーカスアシスタント機能を無効にします。
   注意 : フォーカスアシスタント機能は、15 分経過すると自動的にオフになります。
8. ピント調節ネジを締めて固定します。
9. ［Live View］ページを表示し、画像を確認してください。
10. 次に 17 ページの 6 ～ 8 の手順を行います。

注意 :

- ピント合わせをしている最中は、カメラの前の被写体を変えないでください (手順 5 と 6)。ピント合わせの途中で被写体に変化があった (レンズ前に指やケーブルなどが写ってしまった、カメラの向きが動いてしまった) 場合などは、手順 3 ～ 7 を再度行ってください。
- 被写体が常に動いている場合は、フォーカスアシスタントは使用しないでください。
- コントロールボタンを 2 秒以上押した場合、フォーカスアシスタント機能が有効となる代わりに AXIS Internet Dynamic DNS サービスへの接続が行われます。
- コントロールボタンの操作が困難な場所にカメラを設置する場合でもフォーカスアシスタント機能を利用できます。上記の手順にしたがい、しかし、手順 4 (コントロールボタンを押す) の後にカメラを取り付け、手順 7 をスキップします。

IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	説明
UPnP™	Windows	コンピューターで有効に設定されている場合、カメラが自動的に検出されて、[マイネットワーク] に追加されます。
Bonjour	MAC OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの実行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバー	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントで未使用の IP アドレスを入手します。
2. カメラの製品ラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windows での構文 :	Windows での例 :
`arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 >` `ping -l 408 -t <IP アドレス >`	`arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00` `ping -l 408 -t 192.168.0.125`
UNIX/Linux/Mac での構文 :	UNIX/Linux/Mac での例 :
`arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > temp` `ping -s 408 <IP アドレス >`	`arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp` `ping -s 408 192.168.0.125`

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を取り外してから接続し直し、カメラを起動 / 再起動します。
5. 画面に ‘Reply from 192.168.0.125:...’ またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス >」を入力し、キーボードで Enter キーを押します。

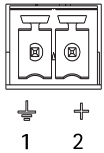
注意 :

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [**ファイル名を指定して実行 ...**] を選択し、cmd と入力してから [OK] をクリックします。
- Windows 7 または Windows Vista で ARP コマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、[**管理者として実行**] を選択します。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、**Application** > **Utilities** の Terminal utility を使用します。

ユニットコネクタ

ネットワークコネクタ – 一般的な RJ-45 イーサネットコネクタ。PoE を利用してネットワーク経由で電源を供給することができます。シールド付ネットワークケーブル (STP) の使用をお勧めします。

電源コネクタ – 電源入力用に使用する 2 ピンのターミナルコネクタです。

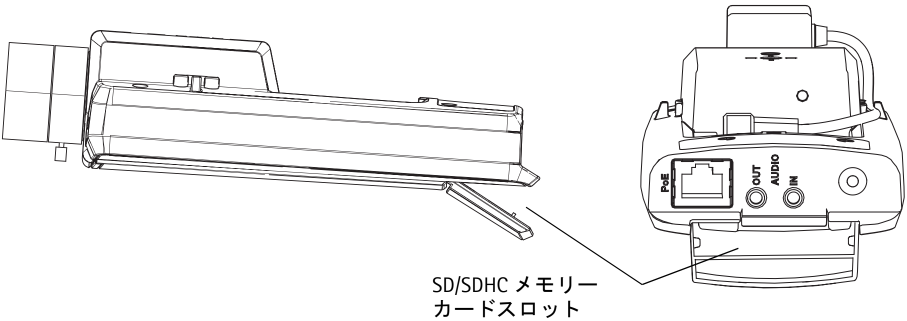


機能	ピン	説明
GND	1	グランド
DC 電源	2	電源入力：8 〜 20V DC AXIS P1343-E：最大 6.4W AXIS P1344-E：最大 6.4W AXIS P1346-E：最大 9.6W

AUDIO IN – 3.5mm モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号 (ステレオ信号の場合は左チャンネルだけを使用) 入力です。

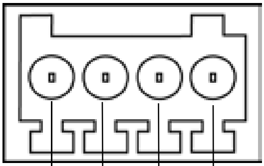
AUDIO OUT – 音声出力 (ラインレベル) には、アンプ内蔵スピーカや PA システムを接続することができます。また、ヘッドフォンを接続することもできます。この端子への接続には、ステレオコネクタを使用してください。

SD/SDHC メモリーカードスロット – SD/SDHC メモリーカードを利用して、録画データをローカルに保存します。



メモリーカードを挿入する場合は、ネットワークカメラの SD カードカバーを持ち上げてメモリーカードをスロットに差し込んでください。

メモリーカードを取り出す場合は、SD カードカバーを持ち上げてから、メモリーカードを軽く押してください。SD カードは取り出せる位置まで出てきます。



I/O ターミナルコネクタ - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用。I/O ターミナルコネクタには、補助電源や GND ピンのほかに、次のインターフェイスを提供します。

- デジタル出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、VAPIX API (アプリケーションプログラミングインターフェイス)、[Live View] ページの出力ボタン、または [Event Type] で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active と表示されます ([Events] > [Port Status] の下に表示)。
- デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイスを接続するためのアラーム入力。赤外線、ドアや窓の接触、ガラス破壊検知などがその例です。信号が受信されると、**状態**が変化して入力が active になります ([Events] > [Port Status] の下に表示)。

注意 :

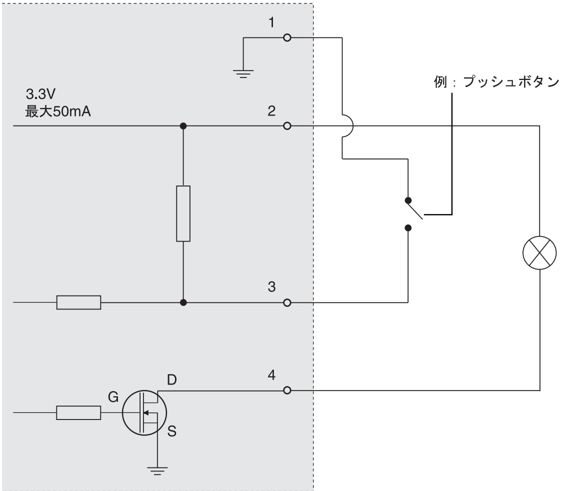
AXIS P1343-E/P1344-E/P1346-E の I/O コネクタは納品時にハウジングエレクトロニクスに接続され、ファンまたはヒーターエラーを示す入力ポートイベントをトリガーします。イベントの設定方法の詳細については、本製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) から利用できるユーザーズマニュアルを参照してください。

機能	ピン	説明	仕様
GND	1	グランド	
3.3V DC 電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 **注意** : このピンは電源出力のみとして使用してください。	最大負荷 = 50mA
設定可能 (入力または出力)	3-4	動作させるにはGNDと接続します。動作しないようにする場合はフロート状態 (未接続) にしてください。 **注意** : 納品時にハウジングエレクトロニクスに接続されています。	最小入力 = - 40V DC 最大入力 = + 40V DC
		オープンドレイン NFET トランジスターを使用。ソースは GND に接続。外部リレーとともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護のためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷 = 100mA 最大電圧 = + 40V DC

日本語

接続図

ネットワークカメラに補助デバイスを接続する場合は、下記の接続図を参考にしてください。



インディケータ

LED	色	説明
Network (NET)	緑色	100Mbps ネットワークに接続されている場合に点灯します。緑色で点滅してネットワークアクティビティを示します。
	オレンジ色	10Mbps ネットワークに接続されている場合に点灯します。オレンジ色で点滅してネットワークアクティビティを示します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
Status	緑色	正常動作時に、緑色で点灯します。 注意：Status インディケータは、通常動作時は消灯させたり、ユーザがネットワークカメラにアクセスしている時にのみ点滅させたりすることができます（**[Setup] > [System Options] > [LED]**）。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、および設定を復元している時にオレンジ色で点灯します。
	赤色	低速で赤色で点滅している場合は、ファームウェアのアップグレードが正しく行われていません。
Power (PWR)	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑とオレンジ色で交互に点滅します。

フォーカスアシスタント機能使用時の Status インディケータ

LED	色	説明
	緑色	手順 4 : フォーカスアシスタントが有効な状態 手順 6 : ピント合わせが適切に行われている状態
	オレンジ色	手順 4 : カメラが動いてしまった、またはレンズの前に何かが入りこんでしまった状態。フォーカスアシスタントを一旦無効にしてから再度有効にしてください。 手順 6 : ピント合わせがやや甘い状態
	赤色	手順 4 : カメラが動いてしまった、またはレンズの前に何かが入りこんでしまった状態。フォーカスアシスタントを一旦無効にしてから再度有効にしてください。 手順 6 : ピントが合っていない状態

ハウジングエレクトロニクスの Status インディケータ (ファン / ヒーター)

LED	色	説明
	緑色	OK
	緑色に点滅	1 回点滅 : ヒーターエラー 2 回点滅 : ファンエラー 3 回点滅 : 一般的なエラー 注意 : アラームイベントはカメラの入力ポートを通してトリガーされます。本製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) から利用できるユーザーズマニュアルを参照してください。故障修理については、Axis 販売店までお問い合わせください。

工場出荷時設定にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと、IP アドレスやピント設定を含むすべてのパラメータが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. ネットワークカメラの電源を切ってください。
2. コントロールボタンを押しながらネットワークカメラの電源を入れます。
3. Status インディケータがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押し続けます (約 15 秒程かかります)。
4. コントロールボタンを放します。Status インディケータが緑色で点灯します (1 分程かかる場合があります)。ネットワークカメラは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。
5. IP アドレスを設定し直すには、本書で説明する方法で行ってください。
6. カメラのピントを再度合わせるには、本書で説明する方法で行ってください。

パラメータを工場出荷時設定にリセットするには、Web インターフェイスを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする場合は、特定のポートで必要なパケットを受信できるようルータを設定する必要があります。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート : 80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート : 554)

詳しくは、お使いのルータのマニュアルを参照してください。この他のトピックについて詳しくは、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

ヒント！
www.axis.com/techsup にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、**[Setup] > [About]** をクリックします。

インストールガイド Ver. 1.0

AXIS P1343-E/P1344-E/P1346-E 印刷日：2010 年 2 月

©アクシスコミュニケーションズ株式会社、2010 年

Part No. 38436